

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名 大垣養老高等学校 学校運営協議会 (第3回)

2 開催日時 令和5年 1月27日 (金) 13:50~14:50

3 開催場所 大垣養老高等学校 会議室

4 会議の構成 学校運営協議会委員

会長	林 新太郎	同窓会長
副会長	久保寺 美佳	地域の住民
会員	長屋 道幸 清水由美子 野崎 道夫 伊藤由美子 宇納 光好	保護者 (本校PTA会長) 養老町議会議員 特別養護老人ホーム「白鶴荘」施設長 女性農業経営アドバイザー 藤井ハウス産業(株) 総務部長

学校側	石黒 比利 西脇 淳子 大矢 英樹 奈波 宏和 土本 繁 戸田 京介 水谷 孝彦 大野 宏 長谷川 緑 桂川 法生	校長 事務部長 教頭 教頭 教務主任 生徒指導部長 進路指導部長 総合学科部長 農場長 寮務部長
-----	--	---

5 会議の概要

(1) 生徒発表 プロジェクト発表

「飛騨牛(ひだうし・ひだぎゅう)の発展のために」

(JA農業教育支援事業プロジェクト発表大会 準グランプリ受賞)

(2) 校長挨拶

- ・学校運営報告（現在の状況等）
- ・大垣養老高校1年間の生徒の活躍（報告）

(3) 自己評価

- ・学校運営、教務部、生徒指導部、進路指導部、総合学科部、農業部、寮務部の順に、資料に沿って自己評価の説明を行った。

(4) 意見交流

意見1：今後も、ＩＣＴ化を推進した授業を深め、展開していってほしい。

スマート農業における教育の推進に努めてほしい。

意見2：各部が学年を超えた交流により、知識や技術の交流がしっかりとできている。

和牛甲子園の5年間の取組が、先輩から後輩へと繋がり、生徒主体の取組が活かされており、成果を発揮している。（第6回 和牛甲子園 最優秀賞）

意見3：教師が高い目的意識を持って指導していることがうかがい知れる。それに対し、生徒が共に意識を高め成長していることが、取組の結果に出ている。

意見4：進路指導部、生徒指導部との連携がよく取れている。

就職試験等で、ありのままの姿を評価していただけるようになってきた。

本校生徒の、各種取組に対する我慢強さが定着してきた。

意見5：いじめが少ない。本校は、生きものを生み、育てる生命産業教育を担っている。

今後も、「農」「福」の連携を強化し、命の大切さをしっかりと学んではほしい。

意見6：校内の農業科・総合学科（商業科・生活福祉科）の持ち味を引き出しながら他学科連携を推進してほしい。

意見7：学校西側の農道に十年越しに街灯設置がされた。

周辺の行政機関、事業所、観光資源等を活用した地域連携を構築する。今後、学校周辺の環境にも目を向け、安全教育にも尽力していきたい。

6 会議のまとめ

コロナ禍の1年であったが、今年度は3回の対面開催ができた。それらを通して、今年度の取組状況や成果・課題を委員の皆様に説明させていただいたり、生徒が学習成果を発表する機会を通して、生徒の成長の姿を見ていたいたりすることができた。

今回も学校運営の充実のために有益な提言が得られた。自己肯定感、自己実現力を身に付け、努力できる生徒を育てるべく、今後の学校運営に活かし、魅力ある学校づくりを推進していきたい。